



## 2022年9月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年8月12日

上場会社名 株式会社エアトリ 上場取引所 東  
 コード番号 6191 URL <https://www.airtrip.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長兼CFO (氏名)柴田 裕亮  
 問合せ先責任者 (役職名)代表取締役社長兼CFO (氏名)柴田 裕亮 (TEL)03 (3431)6191  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年9月期第3四半期の連結業績 (2021年10月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第3四半期	8,545	△39.8	1,743	△43.2	1,575	△47.7	1,222	△49.8	1,273	△42.8	1,380	△43.0
2021年9月期第3四半期	14,198	△26.1	3,071	—	3,018	—	2,438	—	2,206	—	2,423	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年9月期第3四半期	57 54	56 43
2021年9月期第3四半期	105 03	102 47

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年9月期第3四半期	24,666	9,326	8,617	34.9
2021年9月期	21,373	8,136	7,475	34.9

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2022年9月期	—	0.00	—	—	—
2022年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年9月期の連結業績予想 (2021年10月1日～2022年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する 当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	14,500	△17.2	2,600	△17.2	2,470	△18.8	1,820	△23.2	82.28	

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

不確実な社会経済情勢に鑑み、GoToトラベル等による国内旅行回復による収益寄与、海外旅行の回復、訪日観光客の回復、投資事業の貢献等のアップサイド要因は織り込まない保守的な業績予想としております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年9月期3Q	22,153,765株	2021年9月期3Q	21,579,665
------------	-------------	------------	------------

② 期末自己株式数

2022年9月期3Q	309株	2021年9月期3Q	271
------------	------	------------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年9月期3Q	22,126,431株	2021年9月期3Q	21,002,206
------------	-------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の通期連結業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束するものではありません。当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化、クライアントのニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更、為替変動等、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	4
(1) 経営成績に関する説明	4
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	10
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	14
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	15
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	17
継続企業の前提に関する重要事象等	17
会計方針の変更	17
セグメント情報等	17
重要な後発事象	21

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
連結経営成績				
売上収益	14,198	8,545	△5,653	△39.8
営業利益	3,071	1,743	△1,327	△43.2
税引前四半期利益	3,018	1,575	△1,442	△47.7
親会社の所有者に帰属する四半期利益	2,206	1,273	△932	△42.2

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の拡大により、多くの国において海外渡航制限や外出禁止等の措置が取られ、世界的に旅行需要が停滞しており、経済活動の低迷により先行きが不透明な状況となっております。当社は、当該感染症の推移とともに今後の市場動向を注視しております。

このような状況のもと、当社は、エアトリグループの“リ・スタート”に向けたグループ内の事業ポートフォリオの分散および再構築の一環として、前期より各種施策およびコスト削減施策に取り組んでおり、これらの成果が継続して実現されていることから、既存事業が好調に推移しております。エアトリ旅行事業の海外旅行領域を除く既存事業は、いずれも好調を継続しており、当初想定を上回る状況となりました。エアトリ旅行事業の国内旅行領域に関しては回復傾向にあり、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言等の影響が一部あるものの、想定を上回る状況となっております。また、その他の事業領域についても、当期より新たに開始したヘルスケア事業におけるPCR検査等、コロナ禍における新たな需要獲得等により、総じて好調となりました。

このような環境の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上収益は8,545百万円、営業利益1,743百万円、税引前四半期利益1,575百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,273百万円となりました。

## セグメント業績の概況

## オンライン旅行事業

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
売上収益	12,725	7,724	△5,002	△39.3
セグメント利益	2,160	1,505	△655	△30.3

## 1. エアトリ旅行事業

当社は創業当時からオンラインに特化した旅行会社として、お客様へ便利なサービスを提供してまいりました。3つの強みである「仕入れ力」「多様な販路」「システム開発力」を主軸として、以下のサービスを展開しております。

## ①BtoCサービス（自社直営）分野

当社は業界最大規模の国内航空券取扱と各航空会社、東日本旅客鉄道との提携等で、強い競争力を実現しています。国内・海外旅行コンテンツを簡単に比較・予約出来るサイト「エアトリ」を運営しております。サイトの使いやすさに一層こだわりお客様に最適な旅の選択肢を届けます。

## ②BtoBtoCサービス（旅行コンテンツ OEM提供）分野

国内航空券・旅行、海外航空券・ホテル商材を、他社媒体様へ旅行コンテンツとして提供をさせていただいております。コンテンツのラインナップを増やし、媒体ユーザー様の顧客満足度向上の一助となっております。

## ③ビジネストラベルマネジメント（BTM）

「エアトリBTM」において、日常業務の出張に関するチケット手配、効率的な管理業務システムを展開しており、出張のニーズがある企業様へ無料でシステムをご提供しております、直接コスト+間接コスト削減を実現しております。

## 2. 訪日旅行事業

エアトリ旅行事業で蓄積したノウハウを、いち早く訪日外国人向けサービス及び民泊運営企業向けサービスとして展開しております。

### ①訪日旅行者向けWi-Fiレンタル

エアトリの子会社である株式会社インバウンドプラットフォームにおいて、訪日旅行者向けのWi-Fiルーターレンタルサービスを展開。レンタル実績は200,000件を超え、長年の信頼とロコミでブランドを確立しております。キャンピングカーのレンタルと併せ、インバウンド需要に対するサービス拡大を図ります。

### ②訪日旅行者向けダイナミックパッケージ

増加する東南アジア発の個人訪日旅行者に向け、各国言語への対応を強化し、まずはタイ語での日本国内ホテル・旅館情報を整備し、株式会社ジャルパックが販売する「日本初となる訪日外国人向けのダイナミックパッケージ」に国内ホテル・旅館のコンテンツを提供しております。他国方面において訪日旅行の販売促進環境を整えてまいります。

### ③民泊ホスト向けワンストップサービス

現在日本において年々増加傾向にある空き家を有効活用するため、住宅宿泊事業法に則ったお部屋の運用を「株式会社エアトリステイ」がご提案しております。増加する訪日外国人のうち、5人に1人が利用している「Airbnb」と日本初の公式パートナーとなり、物件の登録から物件運用までをワンストップでサポートしており、今後は更なるサービスの拡張を予定しております。

## 3. メディア事業

「エアトリ」を通じて蓄積してきた様々な旅行関連サービスのノウハウを生かし、お客様の生活のあらゆるシーンをより便利にすることを目的として、以下の事業を展開しております。

### ①メルマガ・WEBメディア

「伝えたいことを、知りたい人に」の理念とする当社子会社である株式会社まぐまぐと連携し、世界中からクリエイター等のコンテンツを集め、その情報に価値を感じる人の手元に届ける仕組みを開発・提供しています。無料・有料メールマガジン配信サービスの「まぐまぐ!」をはじめ、記事単位で購読できる「mine」。また、コンテンツを発掘し、数多くの知りたい人に届けることができるWEBメディア「MAG2 NEWS」「MONEY VOICE」「TRiP EDiTOR」「by them」の運営を行なっています。

### ②スーツケース販売・レンタル

スーツケースをはじめとする、常に高品質で使いやすく耐久性のあるトラベル関連用品のレンタル及び販売を行っており、大手小売店や量販店への自社製品の提供、EC展開、OEM展開等も行っております。

このような環境の中、当第3四半期連結累計期間におけるオンライン旅行事業のセグメント売上収益は7,724百万円、セグメント利益は1,505百万円となりました。

## ITオフショア開発事業

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
売上収益	1,088	423	△665	△61.1
セグメント利益	602	424	△178	△29.5

ITオフショア開発事業では、ベトナムのホーチミン、ハノイ及びダナンにて、主にEコマース・Webソリューション・

ゲーム・システム開発会社等を顧客として、ラボ型開発サービスを提供しております。

当社のラボ型開発サービスは、顧客ごとに専属のスタッフを都度新規採用してチームを組成しており、顧客が随時ラボの開発状況を確認することが可能なスタイルとなっております。

このような環境の中、当第3四半期連結累計期間におけるITオフショア開発事業セグメント売上収益は423百万円、セグメント利益は424百万円となりました。

## 投資事業

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
売上収益	382	396	13	3.5
セグメント利益	908	441	△467	△51.4

投資事業では、成長企業への投資を通じて投資先企業との協業等によるシナジーを追求し、収益性と成長性を軸としたグループ内の事業ポートフォリオを構築して、M&A戦略を推進しております。

当連結会計年度においては、投資先を79社まで拡大しております。

このような環境の中、当第3四半期連結累計期間における投資事業セグメント売上収益は396百万円、セグメント利益は441百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3,293百万円増加し24,666百万円となりました。これは主に、使用権資産が238百万円減少した一方で、持分法による投資が378百万円、営業債権及びその他債権が1,149百万円、その他の流動資産が816百万円増加したことによるものです。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2,103百万円増加し15,339百万円となりました。これは主に、有利子負債が998百万円減少した一方で、営業債務等その他流動負債が2,376百万円増加したことによるものです。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1,190百万円増加し、9,326百万円となりました。これは主に、当第1四半期連結会計期間において実施した剰余金の配当221百万円による減少及び当第3四半期連結累計期間の利益に係る利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績につきましては、2022年6月16日に公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」により開示を行った業績予想から変更はありません。変更があり次第、速やかに開示いたします。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産</b>		
流動資産		
現金及び現金同等物	8,771	9,194
営業債権及びその他の債権	1,298	2,447
その他の金融資産	4,852	5,695
棚卸資産	166	63
その他の流動資産	479	1,296
流動資産合計	15,568	18,698
非流動資産		
有形固定資産	394	292
使用権資産	2,111	1,873
のれん	1,109	1,109
無形資産	946	1,096
持分法で会計処理されている投資	580	958
その他の金融資産	574	557
その他の非流動資産	42	24
繰延税金資産	44	55
非流動資産合計	5,804	5,968
資産合計	21,373	24,666
<b>負債及び資本</b>		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,291	3,668
有利子負債	5,292	3,656
リース負債	343	328
その他の金融負債	241	224
未払法人所得税	395	293
その他の流動負債	1,362	2,365
流動負債合計	8,928	10,537
非流動負債		
有利子負債	2,150	2,788
リース負債	1,883	1,652
その他の金融負債	20	21
引当金	50	48
繰延税金負債	193	280
その他の非流動負債	9	10
非流動負債合計	4,308	4,802
負債合計	13,236	15,339
資本		
資本金	1,529	1,545
資本剰余金	2,013	2,027
利益剰余金	3,864	4,895
自己株式	△0	△0
その他の資本の構成要素	68	149
親会社の所有者に帰属する持分合計	7,475	8,617



非支配持分	661	709
資本合計	8,136	9,326
負債及び資本合計	21,373	24,666

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)
売上収益	14,198	8,545
売上原価	△8,537	△3,413
売上総利益	5,660	5,131
販売費及び一般管理費	△3,924	△4,662
子会社の支配喪失に伴う利益	595	-
投資損益(△は損失)	613	301
持分法による投資損益(△は損失)	12	73
その他の収益	231	1,089
その他の費用	△118	△189
営業利益	3,071	1,743
金融収益	59	5
金融費用	△112	△173
税引前四半期利益	3,018	1,575
法人所得税	△579	△353
四半期利益	2,438	1,222
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	2,206	1,273
非支配持分	232	△51
四半期利益	2,438	1,222
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	105.03	57.54
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	102.47	56.43

## 第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

注記	前第3四半期連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上収益	2,995	3,018
売上原価	△1,190	△1,138
売上総利益	1,804	1,880
販売費及び一般管理費	△1,279	△1,801
子会社の支配喪失に伴う利益	-	-
投資損益(△は損失)	448	156
持分法による投資損益(△は損失)	12	24
その他の収益	156	2
その他の費用	△73	3
営業利益	1,069	265
金融収益	26	1
金融費用	△32	△70
税引前四半期利益	1,063	196
法人所得税	△89	△85
四半期利益	973	111
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	919	154
非支配持分	53	△43
四半期利益	973	111
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	42.94	6.99
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	41.70	6.86

要約四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)
四半期利益	2,438	1,222
その他の包括利益(税引後)		
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
在外営業活動体の換算差額	△15	159
持分法適用会社におけるその他の包括 利益に対する持分の組替調整額	-	△1
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△15	158
その他の包括利益(税引後)合計	△15	158
四半期包括利益	2,423	1,380
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,198	1,354
非支配持分	225	26

## 第3四半期連結会計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期利益	973	111
その他の包括利益(税引後)		
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
在外営業活動体の換算差額	6	204
持分法適用会社におけるその他の包括 利益に対する持分の組替調整額	-	△1
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	6	203
その他の包括利益(税引後)合計	6	203
四半期包括利益	979	315
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	922	259
非支配持分	56	55

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の資本 の構成要素	自己株式			
2020年10月1日現在	3,138	4,887	△6,135	92	△0	1,983	555	2,538
四半期利益	-	-	2,206	-	-	2,206	232	2,438
その他の包括利益	-	-	-	△7	-	△7	△7	△15
四半期包括利益	-	-	2,206	△7	-	2,198	225	2,423
剰余金の配当	-	△204	-	-	-	△204	-	△204
新株発行	954	954	-	-	-	1,908	-	1,908
資本金からの資本剰余金 への振替	△3,262	3,262	-	-	-	-	-	-
資本剰余金から利益剰余 金への振替	-	△7,656	7,656	-	-	-	-	-
支配継続子会社に対する持 分変動	-	4	-	-	-	4	174	179
振替及びその他の変動によ る増加(減少)	-	2	4	4	△0	10	5	16
所有者との取引額等合計	△2,308	△3,637	7,660	4	△0	1,719	179	1,899
2021年6月30日現在	830	1,250	3,731	88	△0	5,900	960	6,860

当第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の資本 の構成要素	自己株式			
2021年10月1日現在	1,529	2,013	3,864	68	△0	7,475	661	8,136
四半期利益	-	-	1,273	-	-	1,273	△51	1,222
その他の包括利益	-	-	-	80	-	80	77	158
四半期包括利益	-	-	1,273	80	-	1,354	26	1,380
剰余金の配当	-	-	△221	-	-	△221	-	△221
新株発行	16	16	-	-	-	32	-	32
資本金からの資本剰余金 への振替	-	-	-	-	-	-	-	-
資本剰余金から利益剰余 金への振替	-	-	-	-	-	-	-	-
支配継続子会社に対する持 分変動	-	△2	-	-	-	△2	-	△2
振替及びその他の変動によ る増加(減少)	-	-	△21	△0	△0	△21	21	0
所有者との取引額等合計	16	13	△242	△0	△0	△212	21	△190
2022年6月30日現在	1,545	2,027	4,895	149	△0	8,617	709	9,326

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	3,018	1,575
減価償却費及び償却費	659	535
投資損益(△は益)	△613	△301
負ののれん	-	-
子会社の支配喪失に伴う利益	△595	-
受取保険金	-	△200
事業譲渡益	-	△277
持分法投資利益	△12	△73
持分変動損益(△は益)	-	△290
減損損失	62	37
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	341	△921
棚卸資産の増減額(△は増加)	△32	102
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△437	2,355
前渡金の増減額(△は増加)	126	△748
差入保証金の増減額	19	60
営業投資有価証券の増加額(△は増加)	△291	△550
その他	△2	1,180
小計	2,272	2,483
利息及び配当金の受取額	2	5
利息の支払額	△108	△90
法人所得税の支払額	△48	△384
保険金の受取額	-	200
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,118	2,215
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△208	△71
投資有価証券の売却による収入	-	61
有形固定資産の取得による支出	△157	△33
有形固定資産の売却による収入	65	0
無形資産の取得による支出	△228	△491
敷金の差入による支出	△7	-
敷金の回収による収入	19	15
定期預金の預入による支出	-	△84
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 売却に伴う支出	△310	△4
非連結子会社清算による収入	-	103
その他	△12	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△838	△526
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,050	△1,229
長期借入れによる収入	814	900
長期借入れの返済による支出	△1,316	△1,875
社債の発行による収入	-	1,250
株式の発行による収入	883	32
非支配株主からの払込による収入	179	11
リース負債の返済による支出	△313	△258
親会社所有者への配当金の支出	△203	△226
その他	0	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,006	△1,424

現金及び現金同等物に係る換算差額	60	158
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	332	423
現金及び現金同等物の期首残高	7,042	8,771
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,375	9,194



## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは、「One Asia」をビジョンに掲げ、アジアの様々なチャンスやエンジニアを繋ぐ架け橋となることを目指し、「オンライン旅行事業」「ITオフショア開発事業」「投資事業」と3つの事業を柱に独自性が高いビジネスモデルを事業として主な報告セグメントとして区分し、グループ戦略を立案・決定しております。

なお、各報告セグメントに含まれる事業と主要製品は、以下のとおりであります。

オンライン旅行事業 : エアトリ旅行事業、訪日旅行事業・Wi-Fiレンタル事業、メディア事業  
 ITオフショア開発事業 : ラボ型オフショア開発サービス、BPOサービス  
 投資事業 : 成長・再生企業への投資

## (2) セグメント収益及び業績の算定方法

報告されているセグメントの会計処理の方法は、要約四半期連結財務諸表作成の会計方針と同一であります。

## (3) セグメント収益及び業績に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結合計	
	オンライン 旅行事業	IT オフショア 開発事業	投資事業	計					
外部売上収益	12,725	1,088	382	14,196	1	14,198	-	14,198	
セグメント間収益	-	147	-	147	-	147	△147	-	
売上収益合計	12,725	1,235	382	14,344	1	14,345	△147	14,198	
セグメント利益又は 損失(△)(注3)	2,160	602	908	3,672	△0	3,672	△601	3,071	
金融収益									59
金融費用									△112
税引前四半期利益									3,018

(注1) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告収益などの事業を含んでおりません。

(注2) 「調整額」の区分は、主に各報告セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結合計	
	オンライン 旅行事業	IT オフショア 開発事業	投資事業	計					
外部売上収益	7,723	422	396	8,542	2	8,545	-	8,545	
セグメント間収益	1	1	-	2	-	2	△2	-	
売上収益合計	7,724	423	396	8,544	2	8,547	△2	8,545	
セグメント利益又は 損失(△)(注3)	1,505	424	441	2,371	2	2,374	△631	1,743	
金融収益									5
金融費用									△173
税引前四半期利益									1,575

(注1) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告収益などの事業を含んでおりません。

(注2) 「調整額」の区分は、主に各報告セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

前第3四半期連結会計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結合計	
	オンライン 旅行事業	IT オフショア 開発事業	投資事業	計					
外部売上収益	2,794	162	37	2,994	1	2,995	-	2,995	
セグメント間収益	-	5	-	5	-	5	△5	-	
売上収益合計	2,794	167	37	2,999	1	3,000	△5	2,995	
セグメント利益又は 損失(△)(注3)	756	△1	473	1,228	△0	1,228	△159	1,069	
金融収益									26
金融費用									△32
税引前四半期利益									1,063

(注1) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告収益などの事業を含んでおりません。

(注2) 「調整額」の区分は、主に各報告セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結合計	
	オンライン 旅行事業	IT オフショア 開発事業	投資事業	計					
外部売上収益	2,826	131	60	3,018	0	3,018	0	3,018	
セグメント間収益	0	0	-	1	-	1	△1	0	
売上収益合計	2,826	132	60	3,019	0	3,019	△1	3,018	
セグメント利益又は 損失(△)(注3)	248	55	133	438	0	438	△173	265	
金融収益									1
金融費用									△70
税引前四半期利益									196

(注1) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告収益などの事業を含んでおりません。

(注2) 「調整額」の区分は、主に各報告セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)  
該当事項はありません。